第 13 回
夢･未来熊谷ジュニア議会
会議録

平成 30 年 11 月 14 日開催

熊谷市・熊谷市教育委員会・熊谷市議会

目　次

1　第13回夢・未来熊谷ジュニア議会の概要 …… 1
2　議事日程 …… 3
3　出席議員（32 名） …… 4
4　一般質問 …… 5
質問番号1　市長公室関係 …… 5
- 議席番号 17　別府中学校　大武　瑞希　議員
- 議席番号 6　大原中学校　山口　彩　議員

質問番号 2　市長公室関係 …… 8
- 議席番号 8　熊谷東中学校　田口　快璃　議員
- 議席番号 11　大麻生中学校　石原　千愛　議員
- 議席番号 14　中条中学校　本木　美羽　議員

質問番号 3　総合政策部関係 …… 12
- 議席番号 28　妻沼東中学校　星　友基　議員
- 議席番号 9　玉井中学校　清水　夢叶　議員
- 議席番号 1　荒川中学校　岡田　伶　議員

質問番号 4　総合政策部関係 …… 15
- 議席番号 10　玉井中学校　米光　将太郎　議員
- 議席番号 32　江南中学校　境　美翔　議員
- 議席番号 20　三尻中学校　中村　祥太　議員

質問番号 5　市民部関係 …… 19
- 議席番号 19　三尻中学校　加藤　愛　議員
- 議席番号 18　別府中学校　為谷　元春　議員

質問番号 6　福祉部関係 …… 22
- 議席番号 21　奈良中学校　秋好　愛花　議員
- 議席番号 5　大原中学校　皆川　慎太郎　議員
- 議席番号 15　吉岡中学校　荻島　萌南子　議員

質問番号７　環境部関係 26
- 議席番号２　荒川中学校　佐藤　ゆき　議員
- 議席番号16　吉岡中学校　田島　颯人　議員
- 議席番号23　大幡中学校　加藤　綾乃　議員
- 議席番号29　妻沼西中学校　新井　亜莉沙　議員

質問番号８　産業振興部・農業委員会関係 31
- 議席番号24　大幡中学校　金井　汰朗　議員
- 議席番号22　奈良中学校　髙橋　歩夢　議員

質問番号９　都市整備部・建設部関係 34
- 議席番号13　中条中学校　竹内　陸人　議員
- 議席番号７　熊谷東中学校　篠崎　芽　議員
- 議席番号25　大里中学校　加藤　凌　議員

質問番号10　水道部関係 38
- 議席番号26　大里中学校　遠井　若奈　議員

質問番号11　教育委員会関係 40
- 議席番号30　妻沼西中学校　大﨑　涼雅　議員
- 議席番号27　妻沼東中学校　稲見　朱音　議員
- 議席番号12　大麻生中学校　三品　功士朗　議員

質問番号12　教育委員会関係 43
- 議席番号31　江南中学校　尾上　朋香　議員
- 議席番号３　富士見中学校　加藤　凱也　議員
- 議席番号４　富士見中学校　橋本　佳音　議員

５　ジュニア議員の感想　～ジュニア議会を終えて～ 46

６　参考資料（ジュニア議員座席表） 49

７　参考資料（答弁のための出席者） 50

１　第13回夢･未来熊谷ジュニア議会の概要

夢･未来熊谷ジュニア議会は、平成 18 年 10 月に「熊谷市子ども議会」としてスタートし、今年度で第13回を迎えました。第 6 回からは「夢･未来熊谷ジュニア議会」と名称を変更し、本議会に先立ち、2 回のワークショップを行いました。ワークショップでは、市政に関する事前学習を行うとともにジュニア議員同士の交流を深めました。

第１回ワークショップ（平成30年７月３１日〔火〕）

最初に、オリエンテーションとして、自己紹介と学校紹介を行いました。

その後、「もっと魅力的な熊谷を考えよう」をテーマにグループ討論を行い、熊谷市のことで、「もっと魅力的な熊谷」にするためにはどうすればよいのか、グループごとに意見をまとめ、発表しました。各グループとも活発な意見交換が行われました。

第２回ワークショップ（平成30年８月２３日〔木〕）

実際に本番が行われる議会棟に移動し、過去の質問事項や答弁を利用して「ミニジュニア議会」を開催しました。

過去にどんな質問があって、どんな答弁だったのか本番と同じ環境で体験し、モチベーションを高めることができました。

第 13回夢･未来熊谷ジュニア議会（平成30年11月14日〔火〕）

熊谷市議会本会議場で開催しました。

松本　富男　市議会議長が臨時議長を務め、議長に吉岡中学校の田島　颯人議員が、副議長に玉井中学校の清水　夢叶　議員が指名されました。

市内 16 中学校の 2 年生 32 人のジュニア議員が一般質問形式で一人一問の質問を行い、それに対し、市長を始め市の執行部が答弁を行いました。

当日は保護者、学校関係者、熊谷市議会議員など多くの方に傍聴していただきました。

２ 議事日程

（平成30年11月14日〔水〕13時30分開会）

1　市議会議長あいさつ

2　開会　　臨時議長（熊谷市議会議長）

3　市長あいさつ

4　議長の選挙（指名推選）

5　副議長の選挙（指名推選）

6　一般質問

（途中議長が副議長と交代）

7　閉会　　副議長

8　講評　　熊谷市議会議長
　　熊谷市長

３　出席議員（32名）

議席番号	学校名	氏　　名
1	荒川中学校	岡田　伶
2		佐藤　ゆき
3	富士見中学校	加藤　凱也
4		橋本　佳音
5	大原中学校	皆川　慎太郎
6		山口　彩
7	熊谷東中学校	篠﨑　芽
8		田口　快璃
9	玉井中学校	清水　夢叶
10		米光　将太郎
11	大麻生中学校	石原　千愛
12		三品　功士朗
13	中条中学校	竹内　陸人
14		本木　美羽
15	吉岡中学校	荻島　萌南子
16		田島　颯人
17	別府中学校	大武　瑞希
18		為谷　元春
19	三尻中学校	加藤　愛
20		中村　祥太
21	奈良中学校	秋好　愛花
22		髙橋　歩夢
23	大幡中学校	加藤　綾乃
24		金井　汰朗
25	大里中学校	加藤　凌
26		遠井　若奈
27	妻沼東中学校	稲見　朱音
28		星　友基
29	妻沼西中学校	新井　亜莉沙
30		大﨑　涼雅
31	江南中学校	尾上　朋香
32		境　美翔

４　一般質問
質問番号1　　市長公室関係

議席番号17　　別府中学校　　大武（おおたけ）　瑞希（みずき）　議員
「暑さ対策」について

熊谷市では、「熱中症対策」として、熱中症指標計による注意喚起の情報提供を行っており、今年、特に市長さんから「STOP！熱中症」緊急メッセージが出され、放送でも、市民に呼びかけをされています。また、熊谷市観光協会が「ニャオざねクールキャップ」を販売するなどして、「暑さ対策　日本一」を目指しています。

別府中学校では、熱中症対策キットの作成、熱中症計の設置、地域の方へ熱中症予防のチラシを配布するなどの活動をしています。

そこで、熊谷市では、今後、更にどのような「暑さ対策」に取り組んでいくのか、教えてください。

議席番号6　　大原中学校　　山口（やまぐち）　彩（あや）　議員
他地域とのつながりを大切にするには

今年7月、西日本で豪雨による大きな被害がありました。私は、そのような災害時などに、他県・他地域とのつながりを大切にし、例えば募金などの活動で助け合える熊谷にしたいと思いました。そのためには、災害時以外にも日頃から他県・他地域とのつながりが必要です。つながりを大切にすることで、熊谷の良いところを他県・他地域にも発信し、更に良いまちづくりを進めることができます。そして、他県・他地域に発信できる熊谷市全体で行っている取り組みについて考えてみました。それは、「日本一の暑さ対策」です。特に、中学生は消防士の方々に心肺蘇生法や AED の使い方を教えていただいています。しかし、熊谷市以外でも熱中症になってしまう人は多くいます。

そこで、熊谷市の暑さ対策を動画などにまとめ、インターネット上で全国の人が見ることのできるものにすればどうでしょうか。日本一暑いまちなので、説得力はあると思います。

答弁
（市長）

大武　瑞希議員さん、山口　彩議員さんの質問に、私から全般的にお答えします。

熊谷市では、平成19年に当時の日本最高気温を記録したことを契機に、「夏の暑さから市民の皆さんの健康を守ること」を緊急に取り組むべき課題と捉え、現在まで様々な取り組みを行っています。

特に、平成22年からは、暑さ対策や熱中症対策に更に力を注ぐため、市の若手職員を中心とした「暑さ対策プロジェクトチーム」を結成し、山口さんの質問にもありましたとおり、皆さんが一生懸命に取り組んでくれている「地域へ発信！中学生サポーター事業」を始め、駅の階段を涼しく演出する「階段アート」など、毎年、熊谷オリジナルの暑さ対策事業を実施しています。

これまでの取り組みは、環境省が推奨する「ひと涼みアワード」において、7回中5回トップランナー賞を受賞するなど、「暑さ対策日本一のまち」として外部からも高く評価されています。

大武さんの質問にもありましたが、今年は全国的な猛暑で、熊谷市でも、連日、危機的とも言うべき高温が続きましたので、7 月 20 日に、「『ストップ！熱中症』熊谷市長の緊急メッセージ」を発信し、改めて熱中症の危険性を周知するとともに、市民の皆様の生命を守るための対策を強化しました。

今後も、迅速に、そして的確な対応を心がけるとともに、「暑さ対策日本一」の取り組みを様々な機会や媒体を通じ、広く発信することで啓発効果を高めていきたいと考えています。

中学生の皆さんも「地域へ発信！中学生サポーター事業」を通じて、熱中症の予防や対処法をしっかりと学び、柔軟な発想を持って皆さんが考える「暑さ対策」を積極的に地域へと発信していってほしいと思います。

議席番号17　別府中学校　大武（おおたけ） 瑞希（みずき） 議員
「暑さ対策」について

大武 瑞希議員さんの「『暑さ対策』について」にお答えします。

熊谷市では、暑さから市民を守るため、先ほど市長がお答えした「暑さ対策プロジェクトチーム」を中心として、これまで様々な暑さに対する先進的な取り組みを提案してきました。

例えば、暑さで気分が悪くなった方に休憩をとることで体調回復に役立ててもらうための「まちなかオアシス」などの事業に加え、今年度は、暑さに負けない体を作るための食事や熱中症予防についての啓発を目的とした、大手料理レシピサイト「クックパッド」への熊谷市公式キッチンの開設、外出中の市民にスーパーマーケットやドラッグストア等で注意を呼びかける「熱中症予防声かけ事業」、熱中症予防の注意喚起をプリントしたトイレットペーパーや脱水状態をチェックできるポスターを公共施設等に配備する「トイレの中から熱中症予防事業」などを実施しました。

来年度の事業についても、熱中症の予防・啓発に関するものや市民参加型の暑さ対策など、プロジェクトチームからこれまでの取り組みにはない新しいアイデアが提案されていますので、期待してほしいと思います。

議席番号6　大原中学校　山口（やまぐち） 彩（あや） 議員
他地域とのつながりを大切にするには

山口 彩議員さんの「他地域とのつながりを大切にするには」にお答えします。

熊谷市では、暑さ対策を広く発信する取り組みとして、プロジェクトチームの提案で「暑さ対策」に特化したポータルサイト「熊谷市暑さ対策バンク」を今年の7月から開設しPRしていますが、これまでよりも多くの方にアクセスしていただいています。

このサイトでは、熊谷市が「暑さ対策」に重点的に取り組むこととなった経緯や既に実施した様々な事業について紹介しています。

そして、「埼玉県熊谷市の暑さ対策」としてこれまでの取り組みをまとめた冊子を始め、熱中症に対する知識を広げることを目的に作成したオリジナルDVD「ニャオざねと学ぼう！熱中症予防・対処法」の動画を掲載するなど、広く多くの方に熊谷市の暑さ対策を知っていただけるよう取り組んでいます。

これからも、市内はもとより他の地域においても熱中症に罹ってしまう方が一人でも減るように、市民の皆様を始め高い情報発信力を持つ民間企業などの協力もいただきながら、暑さ対策日本一のまちとして「熊谷オリジナルの取り組み」を展開することで、市ホームページ等でのPRはもとより、マスメディア等様々な媒体を通じて、より広く、より多くの方に効果的に発信できるよう努めていきたいと考えています。

質問番号2　市長公室関係

議席番号8　熊谷東中学校　田口（たぐち）　快璃（かいり）　議員

寒さについて

今年の７月、熊谷市は41．1℃の日本最高気温を記録しました。熊谷市の暑さ対策は全国から注目を集めていますが、冬の寒さも厳しいところです。熊谷ドームの屋根が崩落したり、積雪によるスリップ事故もあったりしました。

そこで、暑さ対策と同じように寒さ対策にも力を入れるべきだと思います。この点について、熊谷市はどのように考えていますか。

議席番号11　大麻生中学校　石原（いしはら）　千愛（ちなり）　議員

荒川氾濫時を想定した防災訓練について

今年の夏、異常気象で、考えられないような災害が起こると気象庁が発表し、実際、西日本豪雨や台風による被害が起こりました。熊谷市には大きな河川があり、いつ氾濫するかわかりません。

そこで、避難経路を確認するためにも、小中学生が地域と一緒に防災訓練を行うべきだと考えます。他の地区では中学生がどう関わっているのか教えてください。

議席番号14　中条中学校　本木（もとぎ）　美羽（みう）　議員

今後、災害が起きた際の対応について

西日本豪雨災害のときには、携帯電話を持たない高齢者の死亡率が高かったことがわかりました。

そこで、今後災害が起きたときに熊谷市では、高齢者の方にどのようなかたちで、どのように連絡をしていきますか。今後の対策についてお聞かせください。

答弁

（市長）

田口　快璃議員さん、石原　千愛議員さん、本木　美羽議員さんの質問に、私から全般的にお答えします。

今年も、日本のあちこちで自然災害が発生しています。特に、大阪北部地震では、学校のブロック塀の倒壊で小学生が亡くなってしまいました。この悲劇を教訓に、熊谷市でも、学校などのブロック塀改修に取り組んでいます。

今年の暑さも含め、豪雨や地震など、災害の危険度は年々、高まっているように感じます。

未来の熊谷を担う中学生の皆さんには、家族と地域を守るためにも、しっかりと防災意識を持ってほしいと考えています。

さて、田口さんの「寒さ対策」ですが、平成26年2月、熊谷市は、62センチの大雪に見舞われ、大変な被害が発生しました。

この被害を教訓に「タイムライン」と言って、雪の降り方に沿った作業計画を作り、市内の会社にも除雪の応援をいただくことにしました。

暑さ対策と同様、なにより、地域の声かけと、雪かきなど、助け合いが大切だと考えています。

次に、石原さんの「防災訓練」についてですが、荒川、利根川の2大河川は、豊かな恵みをもたらす地域の宝である反面、氾濫する危険性も秘めています。「地域と一緒に防災訓練をやるべき」とする意見のとおり、中学生も積極的に地域と関わりを作り、「地域の一員」として活躍してほしいと考えています。

次に、本木さんの「高齢者への連絡方法」ですが、地域には、ご自身で避難が難しい高齢者や障害者など、災害時に手助けが必要な方々がおり、東日本大震災や西日本豪雨でも、こうした方々の被害が多かったとの報告がありますので、熊谷市でも引き続き、有効な方法を研究します。

災害時には、「近所のつながり」が重要です。中学生の皆さんも、普段から積極的にあいさつをするなど、ご近所とのつながりを強くしていってください。

議席番号8　熊谷東中学校　田口（たぐち）　快璃（かいり）　議員
寒さについて

田口　快璃議員さんの「寒さ対策」についてお答えします。

平成26年2月の大雪により、交通網が混乱するなか、多くのカーポートのほか、340棟に及ぶ農業用ハウスが壊われ、特産の小麦、ニンジンなど、農作物に14億円近い、大きな被害をもたらしました。

この災害をきっかけに、市では、3つの大雪対策を検討し、実施しています。1つ目は、市役所内部の仕組みづくり、2つ目は、民間業者を含めた除雪の体制づくり、3つ目が市民の皆様への情報提供と協力のお願いです。

まず、市役所内部では、雪の降り方に応じて、職員のうち、誰が集まるのか、何をやるのかのマニュアルを作っています。大雪警報が出され、10センチの積雪が見込まれると162名、20センチで406名が集まり、除雪作業のほか、情報収集・発信に当たります。

次に、民間業者を含めた除雪体制ですが、現在、43社の民間業者とあらかじめ除雪の契約を結び、医療機関に向かう道路やバス通り、通学路など、どの道路を優先して除雪すべきかを確認しています。最後に、市民皆様への情報提供です。気象台から雪の予報が出されると、「怪我がないように。ご近所で除雪に協力して」との思いを込めて、防災行政無線やメール配信、ツイッターなどの SNS を活用し、市民の皆様にお知らせを行っています。

まもなく、寒さも増し、雪の季節を迎えます。田口さんの質問のとおり、夏の暑さ対策同様、市民の皆様とともに「寒さ対策」にも、しっかりと取り組んでいきます。

議席番号11　大麻生中学校　石原（いしはら）　千愛（ちなり）　議員
荒川氾濫時を想定した防災訓練について

石原　千愛議員さんの「荒川氾濫時を想定した防災訓練について」にお答えします。

災害発生に備え、命を守るためには、まずは、自らが暮らす「地域の特性」を知ることが重要です。万が一、荒川が氾濫した場合、水の深さは、大麻生地区で、ところにより5メートル未満、中学校付近で2メートル未満と想定され、早めに、浸水のない籠原方面か、大麻生小・中学校などの2階への避難が必要です。

現在、災害時の助け合いを目的として、市内には、261の自主防災組織が結成され、昨年度、211回の防災訓練が行なわれています。

地域によっては、地元小・中学校と合同で大規模な防災訓練を開催する事例もあります。

小・中学生が参加する主な訓練内容として、地域の人と一緒に避難所まで移動する避難誘導訓練、心臓マッサージやAEDを使った救命訓練を始め、消火訓練、毛布で作った担架での救助訓練、避難所の課題をみんなで考える訓練など、主に大地震を想定した訓練となっています。

一方、地域単独で開催される防災訓練では、中学生の参加はほとんどなく、地元自治会や自主防災組織を中心に運営されているのが現状です。

東日本大震災発生後には、物資の運搬や避難所運営の手伝いなど、地域の中学生の働きが大きな力になったと言われています。市でも「参加しやすい防災訓練」に向け、回覧板で中学生に参加を呼びかけるなど、地域の自主防災組織に工夫をお願いします。中学生の皆さんも「地域の一員」として、ご家族そろって、防災訓練に参加してみて下さい。石原さんを始め、中学生の皆さんの「地域デビュー」を大いに期待しています。

議席番号14　中条中学校　本木（もとぎ）　美羽（みう）　議員
今後、災害が起きた際の対応について

本木　美羽議員さんの「災害が起きた際の対応について」にお答えします。

災害発生の危険度に応じて、市では、避難準備・高齢者避難開始、次いで避難勧告、最終的に避難指示（緊急）を順次発令します。

これら、命を守る避難情報は、防災行政無線による緊急放送のほか、メール配信サービス「メルくま」やテレビのテロップ、市のホームページなど、多様な手段を使って、市民の皆様に発信しています。

西日本豪雨では、大雨の中、防災行政無線は聞き取りにくく、放送を聞いて避難した方は、わずか7パーセントに過ぎなかったこと、親戚や近所の人からの助言で17パーセントの方が避難したことが報告されています。また、本木さんの質問のとおり、死亡された方の8割が70歳以上の高齢者であった実態も含め、「地域の特性、気象の現状を知って、集団で早めに避難する」重要性を教訓として残しました。

豪雨のなか、全ての方に緊急情報が伝わるとは限りません。また、災害を知っていても、一人では避難できない方々もいます。

自力で避難することが困難な方々の避難の手助けとなるよう、市では該当者の名簿を作成し、民生委員や自治会などに配付していますが、それだけでは十分とは言えません。

いざというときに助け合うためには、日頃から顔の見える「地域のつながり」が大切です。

引き続き、市では、災害時の助け合いの組織である自主防災組織の活動を支援しながら、災害の怖さ、助け合いの大切さを市民の皆さんと一緒に考えていきたいと思っています。

質問番号3　総合政策部関係

議席番号28　妻沼東中学校　星（ほし） 友基（ゆうき）　議員

ふるさと納税に暑さ対策グッズを

7 月 23 日に国内観測史上最高の 41.1 度を記録した熊谷市、約 5 年ぶりの日本一暑いまち奪回などと騒がれました。熊谷市は「あついぞ！熊谷」のキャッチフレーズをやめて「暑さ対策日本一」に転換しています。

そこで、知名度が再度上がった今、暑さ対策グッズなどを「ふるさと納税」に取り入れることはできないでしょうか。

議席番号9　玉井中学校　清水（しみず） 夢叶（ゆめか）　議員

熊谷駅利用者増加について

熊谷駅には、新幹線が止まったり、高崎線の本数が多かったりと、交通の便が整っていて良いと思います。

そこで、更に利用者数を伸ばし、熊谷の良いところを多くの人に知ってもらうため、熊谷ならではのお店を作るのはどうでしょうか。そうすれば、利用者数が増え、熊谷の名物をアピールできると思います。

議席番号1　荒川中学校　岡田（おかだ） 伶（れい）　議員

オリンピックに関連したうちわ祭について

2020 年、オリンピックが東京で開催されます。開催予定の期間は、うちわ祭の期間の数日後です。海外からたくさんの人が来日します。

この機会を利用して、熊谷の良さを世界に発信したいと思います。具体的には、「うちわ祭鑑賞ツアー」を開くことです。「うちわ祭鑑賞ツアー」とは、市民ボランティアが外国の人を案内し、一緒にうちわ祭を楽しむ企画などです。このようなツアーを、熊谷市で企画してみてはどうでしょうか。

答弁

（市長）

星　友基議員さん、清水　夢叶議員さん、岡田　伶議員さんの質問に、私から全般的にお答えします。

始めに、星さんの「ふるさと納税に暑さ対策グッズを」についてですが、ふるさと納税は、自分が選んだ自治体に寄附をして、そのまちを応援するという制度です。

この制度は、市町村の特産品を知っていただき、そして売り込む絶好のチャンスですので、ふるさと納税者のニーズに合わせ、お礼の品としてお送りする特産品等の品目と内容を充実させ、熊谷市へのふるさと納税を拡大していきたいと考えています。

次に、清水さんの「熊谷駅利用者増加について」ですが、熊谷駅は、JR東日本の路線のほか、秩父鉄道が乗り入れており、1日に約7万2千人の方が利用しています。

毎日多くの人々が行きかう熊谷駅に、熊谷ならではのお店があることは、熊谷市の観光資源や特産品等をPRし、もっと、熊谷に興味をもってもらうきっかけづくりになると思います。市では、そのような地元のお店をしっかりと応援していきたいと思います。

次に、岡田さんの「オリンピックに関連したうちわ祭について」ですが、東京オリンピ

ックには、207の国と地域から選手が出場し、再来年の7月24日から17日間に渡って開催されます。こうした中、国では、2020年の訪日外国人旅行者数の目標を、現在の約1．4倍の4千万人に設定し、様々な取り組みを進めています。

世界中から多くの外国人が訪れる東京オリンピックは、ラグビーワールドカップ2019に続き、熊谷市の魅力を広く世界に発信する絶好の機会となりますので、市民の皆さんと一緒に、おもてなしの準備を進め、より多くの外国人観光客をお迎えしたいと考えています。

議席番号28　妻沼東中学校　星（ほし）　友基（ゆうき）　議員
ふるさと納税に暑さ対策グッズを

星　友基議員さんの「ふるさと納税に暑さ　対策グッズを」についてお答えします。

熊谷市で贈呈しているふるさと納税のお礼の品は、当初はお米、大和芋など10品目でしたが、毎年新しい品目を追加し、今では最新のがん検診であるPET 検診など70品目まで増えています。これらのお礼の品を通じて、全国に熊谷市をPRしたり、市内の産業振興を図っています。

また、ご存知のとおり、熊谷市は「暑さ対策日本一」を掲げ、様々な取り組みを行っています。皆さんの中学校でも、熱中症の予防や適切な　対処方法等を学ぶ「暑さ対策」中学生サポーター事業に、取り組んでいただいているところですが、今回、ふるさと納税に暑さ対策グッズを、というアイデアをいただいたことを、興味深く受けとめています。

もちろん、お礼の品を考えていくときには、その品物の魅力や、地域経済の活性化につながるかといった観点も必要になりますので、星さんからいただいたアイデアを含め、熊谷のことをもっとアピールし、そしてふるさと納税をしていただいた皆様に喜んでいただけるようなお礼の品をお渡しできるように、これからも創意工夫していきたいと考えています。

議席番号9　玉井中学校　清水（しみず）　夢叶（ゆめか）　議員
熊谷駅利用者増加について

続きまして、清水　夢叶議員さんの「熊谷駅利用者増加について」にお答えします。

現在、熊谷駅の中に特産品を集めて販売している常設の場所はありませんが、駅改札口前のコンコースで、うちわ祭のときに熊谷グッズを販売したりするほか、市内のお店が協力して、お菓子等、各店ならではの商品を販売するイベントを開催し、にぎわいを見せています。

また、熊谷駅の構内やその近くでは、地元の特産品を紹介し販売しているお店やラグビーに関連するお店など、熊谷のPRにつながるようなお店が増えているところですので、今はそういったお店の広がりを期待しています。

こうした、地元の盛り上がりを応援するためにも、まずはより多くの方に熊谷にお越しいただける機会を作ることが必要と考えていますので、これまでのうちわ祭や、熊谷花

火大会などの伝統行事だけでなく、市内で大きなスポーツの大会や、魅力的なイベントなどが開催されるよう取り組んでいきたいと思っています。

また、来年にはラグビーワールドカップ 2019 が開催されますので、海外からのお客様もお迎えする準備を整え、熊谷の魅力をしっかりと発信し、熊谷駅の利用者数の増加につながるよう進めていきたいと考えています。

議席番号1　荒川中学校　岡田（おかだ） 伶（れい） 議員

オリンピックに関連したうちわ祭について

続きまして、岡田　伶議員さんの「オリンピックに関連したうちわ祭について」にお答えします。

現在、熊谷市では、外国人観光客を案内できるように、熊谷市観光協会が中心になって、市民ガイドの育成と、そのガイドを外国人観光客とつなぐ仕組みづくりを始めたところです。

また、市民と行政が協力して事業を進める市民協働事業の一つとして、英語を話せる「キッズガイド」が観光案内する事業にも取り組んでおり、今年のうちわ祭では、21日と22日の2日間、実際に外国人観光客を案内し、大変評判が良かったと聞いています。

一方で、再来年は、うちわ祭開催日と東京オリンピックの開催期間が近いこともあり、オリンピック警備のために多くの警察官や警備員が必要となるため、うちわ祭の安全確保にあたる警察官や警備員が不足することが、課題の一つとなっています。

そのため、まずは、うちわ祭が安全に開催できるように祭の主催者や関係機関と連携を図った上で、先程お話しした取り組みなども活用しながら、外国人の方にもうちわ祭を楽しんでもらえるようなおもてなしの体制づくりを進め、熊谷市の魅力を更に発信していきたいと考えています。

質問番号4　総合政策部関係

議席番号10　玉井中学校　米光（よねみつ）　将太郎（しょうたろう）　議員

ラグビーワールドカップに来る外国人の方々への対応について

来年、日本で開催されるラグビーワールドカップでは、この熊谷市も試合会場となっています。

ワールドカップでは、多くの外国人が、様々な国から訪れ国全体が盛り上がり、多くの感動と勇気を与えてくれます。この熊谷市にもたくさんの外国人が訪れると思います。

そこで、その時の宿泊施設や言語の違いなど、どのように対応していくのか教えてください。また、私たち中学生にも手伝えることがあれば教えてください。

議席番号32　江南中学校　境（さかい）　美翔（はるか）　議員

ラグビーワールドカップ 2019 の宣伝について

熊谷市では、来年、ラグビーワールドカップ 2019 が開催されます。ガイドブックやポスターなどで宣伝を行っていますが、市外の人たちも集めるために、宣伝する範囲を広げた方が良いと思います。熊谷市にはラグビー部のある中学校がいくつかあります。

そこで、市内の中学校のラグビー部員が出演するCMを作り、テレ玉や他のテレビ局に放映の依頼をしてみてはいかがでしょうか。

また、近年、スマートフォンの普及に伴いSNSが流行しています。そこで、ツイッターなどでCMやラグビーの映像を流したり、ラグビーのルールを投稿するなどして、より多くの人にラグビーのことについて知ってもらうのはいかがでしょうか。

議席番号20　三尻中学校　中村（なかむら）　祥太（しょうた）　議員

ラグビーの普及活動とラグビー場の今後の活用について

熊谷市では、来年ラグビーワールドカップが開催されることもあり、ラグビー場が改修されたと聞いています。しかし、過去のオリンピックなどで使われた施設の中には、大会終了後、あまり活用されていない施設もあったそうです。また、私の身近な人に改修されたことを知っているかと質問してみると、知っている人が少なく、認知度が低いことがわかりました。このままでは、市民の方が、ラクビーに親しむ機会が減ってしまうと思います。

そこで私は、子どもたちを対象としたイベントや施設見学などを行った方が良いと思いますが、そのようなイベントや見学について、どう考えていますか。

また、ワールドカップ後、改修した施設をどのように活用する予定なのか教えてください。

答弁

（市長）

米光 将太郎議員さん、境 美翔議員さん、中村 祥太議員さんの質問に、私から全般的にお答えします。

始めに、米光さんの「ラグビーワールドカップに来る外国人の方々への対応につい

て」ですが、いよいよ、ラグビーワールドカップ 2019 の開催まで1年を切り、これから、大会本番に向けて準備がますます本格化してきます。

大会期間中は外国人を含む多くの方が熊谷市に訪れますので、宿泊施設の充実や、外国語に対する対応など、官民が一体となって取り組んでいく必要があります。

ラグビーワールドカップは熊谷市の魅力を世界に発信する絶好の機会となりますので、試合観戦のために熊谷市を訪れた方々が、「また、来たい。」と思っていただけるようなおもてなしの準備を、多くの市民の皆さんと一緒に進めていきたいと思っています。

次に、境さんの「ラグビーワールドカップ 2019 の宣伝について」ですが、ラグビーワールドカップの成功には、熊谷市内だけでなく、埼玉県内全体での盛り上がりが必要です。

中学生の皆さんにもその一翼を担ってほしいと思っていますので、境さんからご提案いただきました、ラグビー部の皆さんが出演する動画の作成や SNS についても近いうちに実施する予定です。

次に、中村さんの「ラグビーの普及活動とラグビー場の今後の活用について」ですが、熊谷ラグビー場は、2 万 4 千の常設席や大型映像装置も設置されるなど、ワールドクラスの競技場として生まれ変わりました。

先月 20 日の「こけら落とし」には、小中学生の皆さん全員に無料で観戦できるよう案内をし、千人を超える子どもたちに見ていただきました。

この中にも、当日、観戦された方もいるのではないでしょうか。

ラグビーワールドカップについても、このような機会が作れないか、よく考えていこうと思っています。

また、大会後の施設活用ですが、全国大会や世界クラスの試合など、皆さんがワクワクするような試合を多く開催できるように取り組んでいきたいと思っています。皆さんもぜひ、来年のラグビーワールドカップを見に来てください。

議席番号10　玉井中学校　米光（よねみつ）　将太郎（しょうたろう）　議員

ラグビーワールドカップに来る外国人の方々への対応について

米光　将太郎議員さんの「ラグビーワールドカップに来る外国人の方々への対応について」にお答えします。

熊谷市は、たくさんの宿泊施設がある東京都内からのアクセスが良いため、大会期間中の宿泊需要がどの程度あるか把握しにくい状況にありますが、現在、熊谷市内には宿泊施設が19軒約2400人が宿泊できる体制が整っており、現在も新たなホテルの建設が進められるなど、多くのお客様をお迎えできるよう準備が進められているところです。

また、言語の違いへの対応については、熊谷市の玄関口となる熊谷駅の改修工事を現在進めており、様々な国からお越しになったお客様が迷うことなく観戦やまち歩きができるよう、駅の正面口に英語や中国語などの言語に対応したタッチパネル式の多言語案内表示板いわゆるデジタルサイネージを設置したり、熊谷駅や星川通りに無料の Wi-Fi を設置するなどのおもてなしの準備を進めています。

また、飲食店に訪れたお客様への対応として、熊谷市観光協会が中心となって、メニューの英語化などを進めており、外国人の方にも熊谷で過ごす時間を楽しんでもらえるよう準備を進めているところです。ラグビーワールドカップは、海外から多くの方が熊谷市に訪れる機会になりますので、皆さんにも英語や外国の文化などを一生懸命に学んでもらい、来訪される方に最高のおもてなしができるよう協力してほしいと思っています。

議席番号32　江南中学校　境（さかい）　美翔（はるか）　議員
ラグビーワールドカップ 2019 の宣伝について

境　美翔議員さんの「ラグビーワールドカップ 2019 の宣伝について」にお答えします。

これまで、ラグビーワールドカップ 2019 の宣伝として、ポスターや横断幕、のぼり旗などの設置のほか、500 日前や1年前などの節目のイベント開催、うちわ祭などにおけるブースの出展など、色々な PR を行ってきました。

ラグビーワールドカップには、市内はもちろん県内外から多くの方々が観戦に訪れます。

そのため、500 日前イベントを浦和駅前の広場で開催したり、群馬県のイベントにも出展するなど、広く県内外での PR にも取り組んでいます。

市内の中学生による PR についてですが、市内にはラグビー部のある中学校が 5 校あります。

ラグビーワールドカップに向け、多くの方々にラグビーに興味を持ってもらえるよう、部員の皆さんが練習などの活動をしている姿を動画にまとめ、インターネットを通じて紹介することを計画しています。

また、SNS については、現在、ラグビー関係では、「熊谷へラグビーを見に行こう」と「熊谷ラグビー応援団」があります。

これらの SNS では、現在、ラグビーワールドカップまでのカウントダウンや、イベントの告知、その様子の紹介などの情報をタイムリーに掲載しています。

SNS は、世界に向けて情報発信できる有効な手段ですので、今後もこれを活用し、ラグビーワールドカップとラグビータウン熊谷の PR を、広く行っていきたいと思っています。

議席番号20　三尻中学校　中村（なかむら）　祥太（しょうた）　議員
ラグビーの普及活動とラグビー場の今後の活用について

次に、中村　祥太議員さんの「ラグビーの普及活動とラグビー場の今後の活用について」にお答えします。

9 月 23 日の大会 1 年前イベントの時に施設見学会を行ったところ、受付の 2 時間以上前から希望者の列ができ、募集した 500 人を上回る 600 人もの皆さんが見学されました。

このように関心を持たれる市民の皆さんは非常に多い状況ですので、これからもこのような見学会については、施設を管理する埼玉県と相談していきたいと思っています。

また大会までには、更に、約 2 千席の仮設スタンドや大型映像装置、夜間照明などを増やす予定で、今より更に充実した施設として本番を迎えます。

こうしたことも含め、これからも多くの皆さんにラグビーワールドカップやラグビー場のことなどを知っていただくよう、もっとPRをしていきますので、中村さんも今日の話をたくさんの方々にしていただき、ラグビーの普及に協力していただくようお願いします。

また、大会が終わった後の施設活用ですが、今回の改修で熊谷ラグビー場は全国屈指のラグビー専用競技場となり、多くの選手や関係の皆さんから高い評価をいただいています。

今後は、現在開催されている高校選抜大会や18歳以下の女子セブンズ大会といった全国大会のほかにも、パナソニックワイルドナイツを中心としたトップリーグ、大学や高校の公式戦など、トップレベルの試合を多く開催していきながら、この会場にふさわしい日本代表戦や国際試合なども実現できるように取り組んでいきたいと思っています。

質問番号5　市民部関係

議席番号19　三尻中学校　加藤（かとう）　愛（あい）　議員

高齢者の交通事故対策について

近年、ニュースを見ていると、高齢者ドライバーによる交通事故が多く発生しています。私たち中学生も登下校中に、いつ交通事故に巻き込まれるか大変心配です。

そこで、高齢者の交通事故対策として、運転免許証の自主返納のサポートをしたり、高齢者にも読みやすい交通安全マップを作るなどの予定はありますか。

議席番号18　別府中学校　為谷（ためがい）　元春（もとはる）　議員

「空き家」対策について

最近、市内で空き家を見ることが多くなってきました。また、熊谷市では、「熊谷市空家等対策計画」や「熊谷市空家等対策協議会」など、空き家対策に積極的に取り組んでいることを知りました。

そこで、熊谷市は、どのように空き家情報を集め、その空き家への具体的な対策はどのようなものか、教えてください。

答弁

（市長）

加藤　愛議員さん、為谷　元春議員さんの質問に、私から全般的にお答えします。

始めに、加藤さんの「高齢者の交通事故対策について」ですが、全国的に高齢化が進む中、高齢者による交通事故の割合は増加傾向にあり、重大事故がたびたび起こるなど、社会問題化しています。

この対策として、熊谷市では、高齢者に運転免許証の自主返納を促すとともに、その後の移動を支援するため、平成 22 年度から「ゆうゆうバス無料乗車証」の交付事業を行っています。

なお、交通安全マップにつきましては、事故発生場所や危険箇所をお知らせすることで事故防止につながる効果が期待できますので、熊谷版交通安全ハザードマップの作成に向け、検討していきたいと思います。

次に、為谷さんの「空き家対策について」ですが、全国的な人口減少や少子高齢化に伴い、適切に管理されていない空き家が増加し、大きな社会問題となっています。

この対策として、熊谷市では、平成 28 年度に自治会による基本調査、29 年度に所有者の意向調査を含む実態調査を実施しました。

この結果を基に、平成 30 年 3 月に対策計画を作り、発生の予防、適切な管理と利

活用の促進、問題のある空き家の解消、跡地利用の促進と、各段階に応じた対策を実施することとしました。 また、今年の９月に条例をつくり、危険な空き家に対する緊急安全措置を市が行えるようにするなど、対策を進めています。

これからも、計画に位置付けた施策を着実に実施し、空き家問題を解決していきたいと思います。

議席番号19　三尻中学校　加藤（かとう） 愛（あい） 議員
高齢者の交通事故対策について

加藤　愛議員さんの「高齢者の交通事故対策について」お答えします。

昨年の、市内の交通事故による死傷者数は、1,083人で、うち65歳以上の高齢者は163人でした。また、死亡事故の犠牲者7人のうち高齢者が5人と、高い割合を占めています。

これは全国的にも同様な傾向で、国も、75歳以上の運転免許証更新時に認知機能検査を取り入れるなど、対策に乗り出しています。

熊谷市でも、街頭啓発や交通安全フェア、市報等を通じて注意喚起するとともに、熊谷警察署と協力し、高齢者向けの交通安全教室を実施しています。

また、熊谷市交通安全母の会と高齢者交通安全声掛け隊の協力をいただき、

高齢者宅を訪問して交通安全を啓発するなどの対策も、進めています。

次に、交通安全マップについてですが、どこでどのような危険が生じているかを把握することで、道路等の安全対策を進めたり、皆さんにお知らせして注意を促すなど、交通安全対策に有効であると考えています。

ただ、その作成には、事故情報を持っている警察の協力や、自動車の走行データを蓄積した、近年、注目を集めているビックデータの利活用が必要になりますので、関係者と調整しながら進めていきたいと考えています。

議席番号18　別府中学校　為谷（ためがい） 元春（もとはる） 議員
「空き家」対策について

為谷　元春議員さんの「空き家対策について」お答えします。

始めに、空き家情報については、自治会による基本調査をベースに、市に寄せられた相談や苦情、水道の使用状況、建物に対する税の情報などを活用して集めています。

その情報を基に現地調査をした結果、市内には、2,389戸の空き家があり、そのうちの1,507戸に、何らかの問題があることがわかりました。

次に、具体的な対策についてですが、熊谷市の空き家対策をまとめたチラシを作成し、市内に建物を持っている全ての所有者に郵送するなど、空き家の発生予防や適切な管理について啓発しています。

また、見回りや除草、樹木の手入

れなどを頼める業者を紹介したり、空き家を売りたい、貸したいなどの情報を空き家バンクにまとめ、発信もしています。

そして、問題のある空き家については、所有者に適切に管理するよう文書で通知したり、電話や訪問指導もしていますが、改善されない場合には、是正するよう勧告や命令を行い、それでも改善されなければ、市が所有者に代わって取り壊し等の「代執行」も行います。

これからますます、空き家問題が深刻化していくことが予想される中、市としても対策を強化して、問題の解決を図っていきたいと考えています。

質問番号6　福祉部関係

議席番号21　奈良中学校　秋好（あきよし）　愛花（あいか）　議員

高齢者のサポート体制について

私は学校の社会の授業で高齢化と少子化が合わさり、少子高齢化社会が問題になっていることを知りました。近年の日本での問題になっているので対策を取らなければと思いました。

そこで、熊谷市では高齢者の1人暮らしになった家庭へのサポート体制はどのようになっていますか。また、多くなる高齢者を受け入れる施設運営や政策はどのようなものがありますか。

議席番号5　大原中学校　皆川（みながわ）　慎太郎（しんたろう）　議員

子ども 110 番の家について

最近の熊谷市内では、不審者が多くなってきていて、学校から送られてくる不審者情報のメールが多くなっている気がします。

もし不審者にあってしまったときに頼りになるのが子ども 110 番の家だと思います。子ども 110 番の家は、もし不審者等にあってしまった場合に助けてくれる所です。すぐに警察等に連絡をしてくれたりとても便利です。しかし、子ども 110 番の家をあまり使わないためか、どこに 110 番の家があるのかわからない状況です。

そこで、コンビニやスーパーは110番の家となっていますが、場所が集中していて家の近くにはないというケースもあります。そのため、なるべく集中しすぎないようにバランスよく配置することはできないでしょうか。

また、どこに 110 番の家があるのかをマップにして、みんなに知ってもらうような取り組みも良いと思います。ご検討をよろしくお願いします。

議席番号15　吉岡中学校　荻島（おぎしま）　萌南子（もなこ）　議員

子どもの室内での遊び場について

私は室内に子どもの大きな遊び場を作ることを提案します。熊谷市は夏はもちろん暑く、冬は寒いです。そのような環境だと子どもが遊べる場所が少なくなってしまうと思います。そこで、冷房・暖房が完備した、室内型の施設を作ると良いと思います。 家族で利用できる休憩室や、オムツ換えスペース、授乳室など作ればより利用しやすいと思います。

また、料金もあまり高くなければ、気軽に立ち寄れ、「また来たい」と思う人も多いと思います。

幅広い年齢の子どもたちが使える遊び場を作るのはいかがでしょうか。

答弁

（市長）

秋好 愛花議員さん、皆川 慎太郎議員さん、荻島 萌南子議員さんの質問に、私から全般的にお答えします。

始めに、秋好さんの「ひとり暮らしの高齢者へのサポート体制」ですが、全国的に高齢化が進む中で、熊谷市でも、市民の4人に1人が 65 歳以上となり、一人で暮らして

いる高齢者も増えています。このため、日常生活に不安を感じるひとり暮らしの高齢者の方々に登録をしていただき、民生委員さんを中心に日頃から見守りをしていただいたり、趣味やおしゃべりができる長寿クラブや地域のサークルに参加が進むよう応援をするとともに、それぞれの人の健康状況に合わせて色々なサービスを行っています。

また、熊谷市では特別養護老人ホームなどの施設整備を計画的に進めていますが、高齢者の皆さんが、住み慣れた地域で、いつまでも健康で暮らせるよう、高齢者の方を地域で支える仕組みづくりも進めています。

次に、皆川さんの「子ども 110 番の家について」ですが、皆さんが通学の途中などで困った時や危険を感じた時に、助けてもらえる身近な場所として、地域の住宅、商店、事業所などにお願いして「子ども 110 番の家」になっていただいています。現在、1,919 箇所ありますが、「子ども 110 番の家」の看板があることで皆さんが安心できると同時に、犯罪の抑止にもなっていると考えます。これからも広く設置のご協力をお願いするとともに、皆さんが分かりやすく、安心して利用できるよう、工夫していきたいと考えています。

次に、荻島さんの「子どもの室内での遊び場について」ですが、幅広い年齢の子どもたちが使える大きな屋内の遊び場を望む声は、保護者の方からも寄せられています。市では、現在、各施設の統廃合や多機能化などを検討しておりますので、公共施設全体の見直しの中で、そうした新しい機能を持った施設について、先進事例も参考としながら、検討していきたいと考えています。

議席番号21　奈良中学校　秋好（あきよし）　愛花（あいか）　議員
高齢者のサポート体制について

秋好　愛花議員さんの「ひとり暮らしの高齢者へのサポート体制」についてお答えいたします。

ひとり暮らしの高齢者を支える事業としては、見守りも兼ねて昼食を自宅まで配達する配食サービス、ひとり暮らしの高齢者宅を訪問し、自立した生活が送れるように手助けをする生活援助サービス、高齢で集積所までごみを出すことが困難な方のお宅に伺い、声かけをしながらごみを収集するサービスなどを行っています。

また、介護保険制度のサービスとして、ヘルパーが自宅を訪問して食事や入浴の介助、炊事や洗濯などを行うホームヘルプサービス、介護施設に通って食事や入浴などのサービスを受ける日帰りデイサービスなどがあります。

更に、ひとり暮らしの高齢者の急病に備えて、自宅で緊急ボタンを押すと消防署やサービスセンターに連絡が入る機器の貸出しを行っているほか、民生委員さんや自治会長さんを始め、新聞や牛乳などの配達事業者の方が協力し、高齢者の方の異変に気づいた場合に、市へ連絡が入るような協力体制の整備を進めています。

秋好さんにも、通学の途中で、いつもと様子が違うなど、何か変わったことに気づいた場合には、ご家族や学校の先生に連絡をいただきたいと思います。そうしたことが、高齢者を地域全体で支え、住み慣れた地域で暮らせる社会をつくっていくことにつな

がると思います。
　次に、市内には現在 15 か所の特別養護老人ホームを始めとして、有料老人ホームやグループホームなど多くの高齢者向けの施設があります。これからも必要に応じた施設整備を民間の事業者とともに計画的に進めていく予定です。

議席番号5　大原中学校　皆川（みながわ） 慎太郎（しんたろう） 議員
子ども 110 番の家について

　続きまして、皆川 慎太郎議員さんの「子ども 110 番の家について」にお答えします。
　「子ども 110 番の家」については、各小・中学校の PTA の方々の協力の基、それぞれの学校区ごとに、賛同いただける方にお願いして設置していただいています。そのため、配置が均等になっているとは限りませんが、今後も、引き続き各地域の関係者の皆様の御理解をいただき、多くの場所に配置できるよう取り組んでいきたいと考えています。
　また、「子ども 110 番の家」についてのお知らせは、それぞれの学校ごとに工夫して行っています。例えば、子どもたちと一緒に「子ども 110 番の家」の地図を作製したり、子どもたちと実際に歩いて確認したりしている学校もあります。また、学校の掲示コーナーに設置場所のマップの掲示を行っている学校もありますので、こうした事例をみんなで共有して参考にし、保護者も含めて皆さんの「子ども 110 番の家」への理解が深まるようにしていきたいと思います。
　皆川さんも、ぜひ、生徒会活動などで、生徒の視点から「子ども 110 番の家」のPRに取り組んでいただけると嬉しいです。

議席番号15　吉岡中学校　荻島（おぎしま） 萌南子（もなこ） 議員
子どもの室内での遊び場について

　続きまして、荻島 萌南子議員さんの「子どもの室内での遊び場について」にお答えします。
　現在、熊谷市の子どもの室内遊び場としては、児童館のほかに、おおむね 3 歳未満の乳幼児と保護者が安心して遊べる場、情報交換や交流の場として、市内 19 か所に、地域子育て支援拠点を開設しています。ここは、小さい子ども向けの施設ですが、中には、1年間の利用者が1万人を越えるところもあり、大変、にぎわっています。

また、スポーツ文化村「くまぴあ」は、子どもから高齢者まで、幅広い世代の市民が、生涯にわたってスポーツ・文化に親しむことのできるセンターとして整備したもので、親子ふれあいルームのほか、人工芝グランド、テニスコート、体育館、料理、音楽、演劇専用の貸し施設や平和資料展示室、レストランなど備えた複合施設となっています。ぜひ、ご家族で利用していただければと考えています。

また、市内の商業施設の中には、有料ですが、子どもの遊びフロアを設置してにぎわっているところもあります。

幅広い年齢の子ども達が使える大きな遊び場については、今後、公共施設全体の見直しの中で、どのような手法で整備することができるか、民間での実施も含め検討していきたいと考えています。

質問番号7　環境部関係

議席番号2　荒川中学校　佐藤（さとう）　ゆき　議員

プラスチック製品の規制とリサイクルについて

最近、世界中で海洋汚染対策の1つとして、プラスチックストローの廃止が広まっています。有名な企業で実際に行われていたり、州議会などでも検討されたりしています。この場合は海洋汚染の対策ですが、熊谷市でも川の汚染が問題となっています。ムサシトミヨなどのきれいな環境でしか生きられない生物にとっては大きな敵であり、貴重な生物を守るために、保護団体などが川の清掃を行っていることも知りました。

また、私が前に住んでいた地域では、プラスチック製容器包装を燃えるごみと分別し、リサイクルしていました。

そこで、熊谷市では、環境を守るために、これから市内の飲食店に対してプラスチックストローの使用を控えるように呼びかけたり、プラスチックと燃えるごみを分別してリサイクルをしたりする予定はありますか。

議席番号16　吉岡中学校　田島（たじま）　颯人（かいと）　議員

イベントでのごみの捨て方について

うちわ祭りなどのイベントで最終日の夜にごみ箱からごみが溢れていたり、道路のあちらこちらに捨てられているのを見ました。

そこで質問です。市政として、このような状況をどう考えていますか。私は、露店にごみ箱を必ず設置してもらい、ごみの分別回収の呼びかけポスターを掲示することによって、利用者の意識を高めたいと思いますが、いかがでしょうか。

議席番号23　大幡中学校　加藤（かとう）　綾乃（あやの）　議員

これからのミストの設置場所について

私は熊谷市のクールシェアについて興味があります。熊谷市が最高記録を更新したこともあり、今後ミストがどのように設置されていくのかが気になります。今は熊谷駅前にしかないミストですが、人が集まる市役所や熊谷ドーム、市内の小中学校などにミストを設置できないでしょうか。

議席番号29　妻沼西中学校　新井（あらい）　亜莉沙（ありさ）　議員

ムサシトミヨを広めるために

ムサシトミヨは世界で唯一、熊谷市に生息しています。平成3年に「県の魚」、平成23年に「熊谷市の魚」に決まりました。ですが、ムサシトミヨを見たことがない人もいます。

そこで、もっとムサシトミヨを広めるためにも、保護センターの見学会などを行うことはできないでしょうか。

答弁
（市長）

佐藤　ゆき議員さん、田島　颯人議員さん、加藤　綾乃議員さん、新井　亜莉沙議員さんの質問に、私から全般的にお答えします。

始めに、佐藤さんのプラスチック製品についての質問にお答えします。

現在、熊谷市の市民一人当たりのごみの排出量は、残念ながら県内でも多い状況です。このため、熊谷市では、リフューズ(ごみになる物を断る)、リデュース(ごみの発生を抑える)、リユース(再び使う)、リペア(修理して使う)、リサイクル（再生して利用する）といった5Rの理念を基に、ごみの減量と資源の有効活用に取り組んでいます。熊谷市では、プラスチックは燃えるごみで排出していただいていますが、海洋汚染等の環境問題も生じていることから、プラスチック類の分別収集を検討しているところです。

次に田島さんのイベントごみについての質問にお答えします。

イベントごみは、主催者の責任において適正に処理することを原則としていますが、うちわ祭などの大きなイベントでは、どうしても大量のごみが排出されるため、町内会や商店街、市などのイベント関係者と協力し、熊谷市を訪れ、祭りを楽しむ観光客の歩行スペースにも配慮しながら、主催者がごみ箱を設置しています。

ごみを正しく分別し、減らすためには、祭りに訪れる方々にも協力をいただかなければなりませんので、主催者やイベント関係者とも相談し、啓発していきたいと思います。

次に、加藤さんのミストの設置場所についての質問にお答えします。

ドライミスト装置は、大勢の人が常時集まる屋外での設置が効果的であり、現在は熊谷駅の正面口、東口、南口の3箇所に設置しています。　熊谷駅正面口については、来年度開催されるラグビーワールドカップ2019に向け、現在大規模な改修工事を行っていますが、その中でドライミスト装置の増設も行い、全世界からのお客様に、涼しさのおもてなしをする予定です。

更に今年度は、籠原駅の北口と南口にもドライミスト装置を設置しますので、来シーズンはぜひ利用してください。

また、ドライミスト装置ではありませんが、暑さ対策として簡易型のミストシャワーを設置している学校もあるようですので、それぞれの学校で創意工夫しながら取り組んでもらいたいと思います。

最後に新井さんのムサシトミヨの質問についてお答えします。

ムサシトミヨは、世界で熊谷市だけに生息する魚であり、熊谷市ムサシトミヨをまもる会を中心に、地元自治会や埼玉県、熊谷市が協力して、元荒川の管理や外敵駆除などを行っているほか、イベント等での展示、解説なども行っています。

また、熊谷東中学校、佐谷田小学校、久下小学校の皆さんにも熱心な保護・増殖活動を行っていただいています。

なお、保護センターでは、毎月2回、ムサシトミヨの見学会を行っておりますので、機会がありましたら、ぜひ見学に来てみてください。

議席番号2　荒川中学校　佐藤（さとう） ゆき 議員
プラスチック製品の規制とリサイクルについて

佐藤 ゆき議員さんの「プラスチック製品の規制とリサイクルについて」にお答えします。

プラスチックには軽い、さびない、腐らないなど色々な長所があり、宇宙開発、医療、自動車産業のほか、消費生活等人々の暮らしに多いに役立っています。

しかし、現在世界で生産される年間約 4 億トンのプラスチックのうち、約 4 割は使い捨てで、購入後にすぐ不要となり捨てられています。

このように不要となったプラスチックは、適正に処理されなければ、佐藤さんご指摘のように海洋汚染等、大きな環境問題となりますので、国や地方自治体、事業者、消費者が協力して解決していかなければなりません。

そのため、熊谷市ではプラスチックに限らず、ごみを出さない、ごみをリサイクルする等、5Rの理念を基にレジ袋の削減や店頭回収などスーパーマーケット等の事業者とも協力しながら、ごみ減量に取り組んでいます。

更に、近い将来、プラスチック類の分別収集を開始するため、現在、その方法等について検討しているところです。

今後もプラスチックを始めとする、あらゆるごみの減量やリサイクル等について、事業者にも協力していただき、取り組んでいきます。

議席番号16　吉岡中学校　田島（たじま） 颯人（かいと） 議員
イベントでのごみの捨て方について

田島 颯人議員さんの「イベントでのごみの捨て方について」にお答えします。

イベントごみは、主催者が主体的に、責任を持って適正に処理することが原則ですが、うちわ祭につきましては、多くのお客様をお迎えするお祭りでもあることから、お祭りの主催者と協議しながら、多くの場所に燃えるごみと燃えないごみのごみ箱を設置していただき、翌日早朝に市がごみを回収し、まちの美化を図っているところです。

しかしながら、うちわ祭は関東一の祇園祭であり、70 万人を超える人出があることから、夜にはごみ箱の許容量を超えるごみが排出され、ごみが溢れる箇所も見受けられるところです。

本来、自動販売機脇の回収ボックスやスーパーマーケット、コンビニエンスストア等の店頭回収のように、ごみは売る側にも回収する責任がありますので、露店出店者にもごみ箱を設置していただきたいところですが、スペースや露店以外のごみの問題等もあり、お祭りの主催者が対応しているところです。

今後、お祭りの雰囲気や景観を考慮しつつ、ごみ箱の増設や分別意識の啓発について主催者と協議しながら取り組んでいきたいと思います。

議席番号23　大幡中学校　加藤（かとう）　綾乃（あやの）　議員
これからのミストの設置場所について

加藤　綾乃議員さんの「これからのミストの設置場所について」にお答えします。

平成19年8月16日に当時の国内最高気温40．9℃を記録したことを契機に、熊谷市では暑さから市民を守る事業やヒートアイランド対策などを積極的に実施しています。その一環として、熊谷駅を利用される方に、快適な涼しさを提供するため、平成20年6月に熊谷駅の正面口、南口、東口の3か所に、ドライミスト装置を設置しました。これらは、テレビ等のニュース番組でも頻繁に取り上げられ、現在は、熊谷市が進めている「日本一の暑さ対策」のシンボルにもなっています。

熊谷市のドライミスト装置は、効果を最大限に発揮するため、気温、湿度、天候、風速など諸条件を総合的に判断し、効率よく稼働させる自動運転システムを導入しており、また、触れても濡れづらく不快に感じないよう、特別に細かい霧状の水滴を噴霧するよう工夫した装置です。

市役所や学校は、ドライミストではなく屋内空調設備による暑さ対策を進めています。また、熊谷ドームについては、管理者である埼玉県によると、湿度等の関係でドライミスト装置の屋内設置は、適さないとのことでした。

ドライミストは、基本的に屋外の設置が効果的であり、熊谷市を訪れる方や熊谷駅を利用する方等が、視覚的にも涼しさを感じられるよう、玄関口である「駅」を設置場所としています。

熊谷駅正面口については、現在行っている駅前広場の整備とともにドライミスト装置を増設し、籠原駅についても、今年度北口、南口に新たにドライミスト装置を設置する予定です。

議席番号29　妻沼西中学校　新井（あらい）　亜莉沙（ありさ）　議員
ムサシトミヨを広めるために

新井　亜莉沙議員さんの「ムサシトミヨを広めるために」についてお答えします。

ムサシトミヨは、水温が10度から18度で、水草が茂るきれいな水でしか生息できない魚です。

以前は、埼玉県の各地や東京都西部にも生息していましたが、高度経済成長によって川が汚されたり、湧き水が枯れたりするにつれ、ほとんどの地域で絶滅してしまいました。

しかし、熊谷の生息地である元荒川は、現在のムサシトミヨ保護センターの前身である埼玉県水産試験場が、マスの養殖のために汲み上げたきれいで冷たい地下水を常時放流していたため、ムサシトミヨも絶滅を逃れたと言われており、現在では、元荒川が、世界で唯一のムサシトミヨの生息地となっています。

これからもムサシトミヨを保護していくためには、ムサシトミヨについて多くの皆さんに広く知ってもらう必要があります。

そのため、現在、保護センターにおいて、ムサシトミヨを守る会の皆さんが、毎月第1、第3日曜日に、展示解説を行っているほか、夏休みには観察学習会なども実施しています。

また、本日の県民の日にも毎年「特別開館」を行うなど、ムサシトミヨを知る機会、見

る機会を設けていますが、まだまだ、多くの人に知ってもらいたいと思いますのでPRを充実していきたいと思います。

質問番号8　産業振興部・農業委員会関係

議席番号24　大幡中学校　金井（かない）　汰朗（たろう）　議員

熊谷のおいしい米や水を使った新たな名物について

学校の給食で出ているご飯は全て熊谷の米ということを先日市の職員の方から聞きました。学校の給食でぼくは毎日おいしくいただいています。熊谷の水も毎日飲んでいるのでおいしさを実感しています。

そこで、熊谷のおいしい米と水をもっと生かすために、五家宝や雪くまに次ぐ新しい名物を作るというのはどうでしょうか。

議席番号22　奈良中学校　髙橋（たかはし）　歩夢（あゆむ）　議員

空き農地について

私の通学路は水田に囲まれています。きれいな水田に囲まれている一方で草が生え、手が入っていない荒れ地となっている場所もあります。

そこで、高齢化が進み農家の方が手のかけられなくなった土地を、市として計画的に活用できないでしょうか。また、具体的に活用はされているのでしょうか。

答弁

（市長）

金井　汰朗議員さん、高橋　歩夢議員さんの質問に、私から全般的にお答えします。

始めに、金井さんの「新たな名物について」ですが、熊谷市の農業は、県内で第5位の産出額となっていて、荒川と利根川の二大河川に育まれた肥沃な　耕地と古くから水にも恵まれていたこともあり、米と麦の「二毛作」が盛んに行われてきました。

米は県内5位、麦は「麦翁」とも呼ばれた郷土の偉人権田愛三氏の努力もあり、本州一の収穫量を誇っています。

地元でたくさん採れる良い原材料を生かすために名物づくりはとても効果的です。そして、その原材料を加工し、更に販売へと結びつけていく6次産業化は地域の発展にもつながりますから、新しい名物を研究してみたいと思います。

次に、高橋さんの「空き農地について」ですが、熊谷市では肥沃な大地を利用し、米麦のほかにも、妻沼地域の野菜栽培や江南地域の果樹栽培など、各地域で特色ある農業が営まれています。

しかし、日本の産業構造が変化する中で、農家の高齢化や後継者不足により、全国的にも農家が減少していて、耕作されていない、いわゆる「遊休農地」も増えてきています。

市内の遊休農地面積は、平成29年度末の集計では約96haで、これは奈良中学校敷地の約39校分にあたります。

現在、熊谷市では農地の区画整理や農業を新たに始める人への支援など、農地利用の促進に取り組んでいるほか、熊谷市に移転開校した埼玉県農業大学校と連携するなど、多くの事業を組み合わせて農業を応援しています。

農業は、国土保全や環境、健康など様々な角度で捉えていくと視野も広がりますので、中学生の皆さんも、農業に対して興味と関心を持ち続けてください。

議席番号24　大幡中学校　金井（かない） 汰朗（たろう） 議員
熊谷のおいしい米や水を使った新たな名物について

金井 汰朗議員さんの「熊谷のおいしい米や水を使った新たな名物について」にお答えします。

今年 2 月に、埼玉産の米の銘柄が、もっともおいしいお米のランクにあたる特Aを獲得し話題となりました。「彩のきずな」という銘柄ですが、熊谷市にある埼玉県農業技術研究センターで品種開発されたものです。

このお米はおいしいだけでなく、暑さに負けずに生育することを目指し、平成 15 年から新品種の開発が始まり、40.9 度を記録した 19 年や 22 年の猛暑を乗り越え 26 年に商品登録されました。

熊谷市内での生産も始まっていて、熊谷のおいしい米がひとつ増えることになります。

また、水のおいしさも有名で雪くまの原料となっています。そうなると、そのおいしいもの同士を生かした名物の誕生が期待されるところですが、どんなものに加工するか、料理するのかが問題となってきます。

現在、熊谷市では、新たな「道の駅」を整備したいと考えていて、その整備目標を「日本を代表する″食″のテーマパーク」としています。

すぐれた地元の米や麦、そして新鮮な野菜の販売にとどまらず、それを原材料とした加工食品の製造、販売などの6次産業化も目指した取り組みを進めています。

金井さんの質問の新たな名物のほか、多彩な名物をここから誕生させたいと思います。

議席番号22　奈良中学校　髙橋（たかはし） 歩夢（あゆむ） 議員
空き農地について

高橋 歩夢議員さんの「空き農地について」お答えします。

熊谷市は農産物の大消費地である東京都心に近く、市内全域がほぼ平坦で南部には荒川、北部には利根川が流れ肥沃な農地が広がっています。

また、晴天日数も日本一で、農業を営むのに適した環境にあると言えます。

しかし、このような利点があるにも関わらず農家の高齢化や後継者不足により、農作物が何も作られない農地が毎年増えてきています。

その一方で、農地は食料生産のための大切な土地として、農地以外に利用することが厳しく制限されています。

このため、熊谷市では農地を農地として活用していく方向で考えています。

高齢化により農作業が出来なくなった農家や後継者がいない農家の農地を、担い

手と言われる大規模農家や新たに農業に参入しようとする企業等に借りてもらうなど、農地の有効活用を進めることで、熊谷市の農業が活性化するよう、現在進めているところです。

質問番号9　都市整備部・建設部関係

議席番号13　中条中学校　竹内（たけうち）　陸人（りくと）　議員

自転車通行空間の拡大について

中心市街地は自転車レーンも増え、走行しやすくなってきています。中条のように市街地から離れた地域でも、自転車走行に不便を感じています。自転車通行空間の整備について、今後の予定をお聞かせください。

議席番号7　熊谷東中学校　篠﨑（しのざき）　芽（めい）　議員

住宅密集地の道が狭いことについて

私は、家と家の間がだんだん近くなっているような気がします。家と家の間が近いことで、車の出入りが危ない、という声も聞こえてきています。人口が増えて家が増えるのはわかりますが、それに伴って車の交通量も増えています。

子どもの飛び出しや自転車の通行など、道幅が狭いことにより運転手が危険と感じることも多いと思います。道幅を広げるなどの対策をしたほうが良いと思います。熊谷市はどのように考えていますか。

議席番号25　大里中学校　加藤（かとう）　凌（りょう）　議員

通学路について

いつも僕たちの通学のことを考えていただき、ありがとうございます。新しい道ができて広くなって通学がしやすくなりました。ただ、学校でも先生方が通学路をまわって調べたり、私たちもアンケートで答えたりしていますが、カーブミラーの設置などこれまで以上に設置していただくようよろしくお願いします。

答弁

（市長）

竹内　陸人議員さん、篠﨑　芽議員さん、加藤　凌議員さんの質問に、私から全般的にお答えします。

始めに、竹内さんの「自転車通行空間の拡大について」にお答えします。

熊谷市は、地形が平坦で、晴天の日数が多いため、比較的自転車を利用しやすい環境にあります。そのため、通勤、通学や買い物など、日常の交通手段として多くの人が自転車を利用しているほか、サイクリングなどを楽しむ人も増えています。

熊谷市の中心市街地では、歩道を走る自転車が多く、歩行者との接触事故が心配されるため、優先して整備しています。竹内さんがお住まいの中条中学校周辺にはスポーツ文化公園や常光院などの見どころもありますので、自転車が安心して通行できる道路を増やせるよう、これからも検討していきます。

次に、篠﨑さんの「住宅密集地の道が狭いことについて」にお答えします。

区画整理や住宅開発とは別に、個々に住宅建築が進んでいる地区では、幅の狭い、古いままの道路がそのまま残っているため、篠﨑さんも感じているとおり、道路を拡幅してほしいとの地元自治会等からの要望が多く出されています。このため、熊谷市で

は公平で効果的に道路整備を実施するため、「熊谷市道路事業評価システム」で評価し、必要性や実施効果の高い路線から順次整備を進めています。

狭い道路を広げるためには、道路沿線の土地所有者から大切な土地を提供していただく必要がありますことから、地域の皆さんのご協力をいただきながら、安全に生活するために必要な道路幅のある道路の整備を進めています。

次に、加藤さんの「通学路について」にお答えします。

熊谷市では、通学路の安全を図るため、学校や地域の意見・要望を踏まえ警察と連携しながら、小学校の通学路にグリーンベルトを設置したり、生活道路が密集する区域では、車の最高速度を30㎞に規制するゾーン30の整備など、安全対策に取り組んでいます。

これからも、皆さんが安心して通学できる道路環境を整備していきますので、皆さんも交通事故にあわないよう交通ルールをしっかり守ることをお願いします。

議席番号13　中条中学校　竹内（たけうち） 陸人（りくと） 議員
自転車通行空間の拡大について

竹内 陸人議員さんからの「自転車通行空間の拡大について」にお答えします。

熊谷市内には、サイクリングを目的として、川の堤防を利用した荒川自転車道や利根川自転車道が整備されているほか、埼玉県内の「自転車見どころスポット」を結んだ「ぐるっと埼玉サイクルネットワーク構想」などがあります。

また、現在、歩行者と自転車との安全性や快適性の向上のため、熊谷駅を中心とした交通量の多いまち中について、国では国道 17 号、県では熊谷駅と熊谷ラグビー場とを結ぶラグビーロードや県道太田熊谷線、熊谷市でも北大通りや弥生町通りなどの道路について優先的に、自転車通行空間の整備を進めています。

その整備の方法には、歩道、車道、自転車道を構造物で分離する方法や、歩道の中や車道の端に通行帯を表示する方法などがあり、道路幅や通行量に応じた方法で整備しています。

これからも、安全で快適に自転車が通行できる道路を繋げ、将来的には竹内議員さんの地元の中条地区にも、ネットワークの範囲を徐々に広げていきたいと考えています。

議席番号7　熊谷東中学校　篠﨑（しのざき）　芽（めい）　議員
住宅密集地の道が狭いことについて

篠﨑　芽議員さんの「住宅密集地の道が狭いことについて」にお答えします。

熊谷市では、道路幅4メートル未満の狭い生活道路を広げる要望をいただいた時は、ふたつの整備方法で広げています。

ひとつは、土地を寄附していただき整備を行う方法です。家などを新たに建築する時に、建築基準法により、防災等の観点から、将来幅4メートルの道路が確保できるように、道路の中心から両側に2メートルの範囲には建物等を建てることができないことから、その土地を寄附していただき、ひとつの路線で寄附が整った時に、4メートルの道路に整備します。

もうひとつは、市内全域同一単価で土地を購入し道路幅5メートル以上の整備を行う方法です。

熊谷市では、安全な道路を整備するために、市内全域の道路を5メートル以上に拡幅するように進めていきたいと考えていますが、建物等が支障となることがあるため、寄附による4メートルの整備と併せて進めています。

いずれの方法も、道路に面した皆様から、貴重な土地を提供していただくことが必要となるため、整備を行う道路は、土地の提供に同意していただいた地域からの整備要望箇所となります。

これにより、昨年度は25箇所、約3キロメートルの生活道路の整備を実施しました。

議席番号25　大里中学校　加藤（かとう）　凌（りょう）　議員
通学路について

加藤　凌議員さんの「通学路について」にお答えします。

熊谷市では、道路の交通安全対策施設として、白線などの路面標示や水路への転落を防止する防護柵、ガードレール、道路照明灯及びカーブミラーを設置し維持管理をしています。

カーブミラーは、見通しの悪い曲がった道路や交差点に、安全を確認するための補助施設として設置していますが、鏡に写らない死角があるため、過信して一時停止を怠ったり、目視せずに交差点に進入すると事故になることがあるため、十分な安全確認が必要となります。

また、カーブミラーは、自動車運転手が運転席から見通しの悪い方から来る車を見るために設置していますので、歩行者や自転車は、小さく写り見えにくくなっていることから、カーブミラーで確認する時は、十分な注意が必要です。

設置は、道路を利用する方々からの要望を受け、現地の状況を確認し判断しています。

加藤さんも、カーブミラー等お気づきの場所がありましたら、保護者や学校の先生を

通じてご連絡をいただければ、現地を確認しますので、これからも通学路を安全に通行できるように協力をお願いします。

質問番号10　水道部関係

議席番号26　大里中学校　遠井（とおい）　若奈（わかな）　議員

ウォーターサーバーの設置について

私の学校には冷水機があります。自動洗浄になっているのですが、使えない期間があったり、冷水機を不衛生に思い、使わない子がいます。

そこで、各学校にウォーターサーバーを置いてほしいです。ウォーターサーバーならコップを使うので衛生的だと思います。できればウォーターサーバーで使用する水を熊谷市の地下水を利用したものにしてほしいです。

答弁

（市長）

遠井　若奈議員さんの質問に、私から全般的にお答えします。

今年は、局地的な豪雨や台風、地震等による大規模な自然災害が多発し、また、猛暑による熱中症の救急搬送者が急増するなど、異常気象が続いていることから、電気や水道等のライフラインの重要性が注目されるとともに、「暑さ対策」も非常に重要となってきました。熊谷市内のほぼ全域に水道水が供給され、皆さんの家庭や学校でも日常的に水道水が使われています。もちろん、学校に設置した冷水機の水も水道水です。

熊谷市では、学校の「暑さ対策」として夏場の運動後などに冷たい水で水分補給できるように、災害時には避難所となる体育館等に冷水機を設置し、現在、小学校は29校中24校、中学校は16校中9校に設置しました。

なお、冷水機のない学校では、自動製氷機やミストシャワーを設置するなどの暑さ対策を行っています。

今後も「暑さ対策日本一」を目指し、様々な取り組みを進めますが、重要なライフラインである水道も、施設の適正な維持管理や、水道管の耐震化等を進め、安全でおいしい水の安定した供給を行っていきます。

議席番号26　大里中学校　遠井（とおい）　若奈（わかな）　議員

ウォーターサーバーの設置について

遠井　若奈議員さんの「ウォーターサーバーの設置について」にお答えします。

ウォーターサーバーは、設置も簡単で冷たい水と温かいお湯の両方が使えるのでとても便利だと思いますが、やはり、サーバー本体の適切なメンテナンスやボトルの交換など衛生面に気を配る必要があります。

一方、冷水機は、自動洗浄機能があり、更に、水道管に直接つながっていてボトルを交換する必要も心配もありませんので、これからも充分利用してください。

また、この冷水機の水は熊谷市の水道水ですが、以前は水道水の全てを地下水で賄っていたこともあり、当時の厚生省の「おいしい水研究会」の水道水ランキングで、全国2位になったこともあります。

ただ、現在では、地盤沈下の防止や水質事故に備えるため、地下水が約7割、埼玉県から買った水を残り約3割としています。

これからも、人口減少や節水機器の普及等により、水の需要が減少することが予想されますが、安心で安全な水道水を皆様へお届けしますので、ご利用ください。

なお、水道庁舎の敷地内では、水道水と地下水の飲み比べができますので、機会がありましたら、ぜひ味わってみてください。

質問番号11　教育委員会関係

議席番号30　妻沼西中学校　大﨑（おおさき）　涼雅（りょうが）　議員

部活動の強化について

僕の知る限りでは、熊谷市のみの公式戦は、ほぼないと思います。そのため、熊谷市内の公式戦を少し増やしてもらいたいです。そうすることで、熊谷市内のどの部活も強化できると思います。

議席番号27　妻沼東中学校　稲見（いなみ）　朱音（あやね）　議員

夏の部活動について

「暑さ対策日本一」を掲げている熊谷ですが、今年は特に暑く、そのため部活動が中止になってしまうことが多かったです。

そこで、屋外にはミストやスプリンクラー、体育館にはエアコンを設置するなどして、部活動を中止にせず、練習に励みたいのですが、暑さ対策についてどのようにお考えですか。

議席番号12　大麻生中学校　三品（みしな）　功士朗（こうしろう）　議員

特別教室のクーラー設置について

今年 7 月、熊谷市は日本最高気温 41.1 度を観測しました。夏休み中でしたので、涼しい場所で生活をすることができました。

しかし、7 月の暑さもクーラーなしでは生活ができませんでした。大麻生中学校では全ての教室にクーラーが設置されていますが、特別教室には設置されていません。4 階にある美術室は熱がこもり、1 階にある木工室で 2 時間続けての作業は厳しいものがありました。いずれも、扇風機、水筒持参で乗り切りました。

今後、年々気温が上がっていくことが予想されます。特別教室へのクーラー設置の予定はあるのでしょうか。

答弁

（市長）

大﨑　涼雅議員さん、稲見　朱音議員さん、三品　功士朗議員さんの質問に、私から全般的にお答えします。

始めに、大﨑さんからの「部活動の強化について」ですが、「部活動を強化していきたい」という思いは大変素晴らしいです。大会や練習試合に向けて、目標を立て、日々練習に励んでいることと思います。自己の成長とチームの強化に努め、現在行われている大会にむけ精一杯頑張っていただきたいです。

次に、稲見さんの「夏の部活動について」ですが、現在、いくつかの学校では、暑さ対策としてミストシャワーを設置

し、大変好評を得ています。費用もあまりかからない簡易型のものもありますので、校長先生や生徒会でよく話し合い、設置の検討をしてほしいと思います。

今後も、夏の暑さから皆さんの大切な命を守るとともに、稲見さんのように「部活に励みたい」と考える生徒の皆さんの気持ちを大切に対策を考えていきます。

最後に、三品さんの「特別教室のクーラー設置について」ですが、熊谷市では、近隣市町村に先駆けて、全ての普通教室と理科室・音楽室などの特別教室や少人数教室にエアコンを設置し、積極的に暑さ対策を実施してきました。

今年の夏のような記録的な暑さは、今後も心配されますので、エアコンの設置されていない特別教室での授業の在り方についても考えていきます。

議席番号30　妻沼西中学校　大﨑（おおさき）　涼雅（りょうが）　議員
部活動の強化について

大﨑　涼雅議員さんの「部活動の強化について」にお答えします。

今、部活動のガイドラインを作っているところですが、熊谷市のみの公式戦を増やすことについては、学校によって種目、部員数が異なること、また、日程の調整の点から難しいことです。現在の2つの大きな大会に向け、時には練習試合等で、日々の練習の成果や課題を確認しながら、自己の成長及びチームの強化につなげてほしいと思います。

議席番号27　妻沼東中学校　稲見（いなみ）　朱音（あやね）　議員
夏の部活動について

稲見　朱音議員さんの「夏の部活動」についてお答えします。

現在、学校で設置しているミストシャワーは、簡易型のものですが、涼しさを感じたり、運動後のクールダウンに利用されたり、大変喜ばれています。

現在、熊谷市では、皆さんの命を最優先に考え、WBGT値が5になった場合は部活動中止としていますので、それぞれの学校で創意工夫しながら取り組んでもらいたいと考えています。

議席番号12　大麻生中学校　三品（みしな）　功士朗（こうしろう）　議員
特別教室のクーラー設置について

三品　功士朗議員さんの「特別教室のクーラー設置について」お答えします。

教育委員会では、皆さんの健康を第一に考えており、先ほど市長がお答えしたとおり、小中学校の普通教室や少人数教室と、理科室や音楽室の特別教室にエアコンを設置してきました。

皆さんには、エアコンの効きを良くするために、扇風機や緑のカーテンなどの暑さ対策を組み合わせて、節電と快適な学習環境を両立していただきたいと思います。

エアコンの設置されていない特別教室の授業については、例えば、各学校の教育計画を変更することによって、夏場の暑い時期には、エアコンのある普通教室で出来る内容を実施するなど、校長先生方と相談していきます。

質問番号12　教育委員会関係

議席番号31　江南中学校　尾上（おのえ） 朋香（ともか） 議員

熊谷市の英語指導法「ラウンドシステム」について

熊谷市では、英語の授業で「ラウンド制」が導入されています。実際、ラウンド制の授業を取り入れたことで、私自身、英語力が伸び、「英語が今までより話せるようになった。」と感じております。

そこで、ラウンド制の授業で身についた高い英語力を生かし、熊谷市内の小中学生に他国の留学生や観光客と交流を深める機会を設けることはできないでしょうか。

2019 年に開催されるラグビーワールドカップや東京で行われるオリンピックに向けて、熊谷から英語が話せる人が増えればいいと思います。よろしくお願いします。

議席番号3　富士見中学校　加藤（かとう） 凱也（がいや） 議員

中高生のボランティアについて

平和記念公園で広島の高校生が外国人観光客に英語でボランティアガイドをしていると、僕はテレビで知りました。その姿はとてもかっこよく、中高生が自分の地元を勉強して紹介するということが素晴らしいことだと感じました。

来年のラグビーワールドカップでは、国内外からたくさんの人が熊谷を訪れます。市内にはラグビー場のみならず、国宝である聖天山などの観光地もあります。

そこで、熊谷市の中高生も熊谷の名所を紹介するボランティアをしてみてはいかがでしょうか。地元を愛する中高生を育成し、また観光客への大事なPRも行うこの活動は、未来の熊谷につながる大事な活動だと思います。ぜひ実現したいです。

議席番号４　富士見中学校　橋本（はしもと） 佳音（かのん） 議員

図書館利用者を増やすために

最近、図書館を利用している人が固定化しており、新規利用者が増えていないように感じます。その理由の1つとして、本の種類が高い頻度で定期的に変わることがないからだと、私は考えています。日々新しいものが求められる現代の情報化社会の中で、これは改善していくべき問題ではないでしょうか。

そこで、新規利用者を増やし、図書館が多くの人に利用してもらえるよう、新しい本を取り入れて、それが多くの人の目に触れるよう、入り口付近での本の紹介コーナーの充実を図るべきだと思います。

また、中高生にその紹介コーナーを作成させていただけないでしょうか。なぜなら、未来の熊谷を担う10代の世代を新規利用者として獲得することは、今後の図書館利用者数の増加につながると思うからです。そして、同世代の私たち目線での紹介コーナーを作ることで、図書館の魅力向上を図りたいと思います。

答弁

（市長）

尾上 朋香議員さん、加藤 凱也議員さん、橋本 佳音議員さんの質問に、私から全般的にお答えします。

始めに、尾上さんからの「熊谷市の英語指導法「ラウンドシステム」について」ですが、

グローバル化が急速に進展する中で、英語によるコミュニケーション能力は、今後もますます大切になってきます。そこで、熊谷市では、「ラウンドシステム」を導入し、熊谷の子どもたちが、「英語によるコミュニケーション能力」を身に付け、来るラグビーワールドカップ2019、東京オリンピック・パラリンピックでは、訪日したお客様を小・中学生を始め、熊谷市民全員で温かく迎えたいと考えています。

次に、加藤さんの「中高生のボランティアについて」ですが、来年の「ラグビーワールドカップ2019」では、国内外からたくさんの人が熊谷を訪れます。「4年に一度じゃない、一生に一度だ。」のキャッチフレーズのとおり、世界中からのお客様をおもてなしの心をもって迎え、小中学生はもちろん、全ての人にとって一生の記憶に残る大会にしたいと考えています。

そのためにも、皆さんには、ボランティア等の活動に協力してもらうことを検討していますので、皆さんの力に期待をしております。

最後に、橋本さんの「図書館利用者を増やすために」ですが、「図書館の魅力向上を図りたい」との積極的な提案をいただき、ありがとうございます。

これからも図書館では、新しい本をそろえ、その本を利用者の方に紹介することで、多くの方に足を運んでもらえるような図書館にしていきたいと思います。

中学生の皆さんに、図書館運営に参加してもらうことは、図書館の活性化にもつながります。ぜひ、これからも橋本さんのようなアイデアをお寄せくださるようお願いします。

議席番号31　江南中学校　尾上（おのえ） 朋香（ともか） 議員
熊谷市の英語指導法「ラウンドシステム」について

尾上 朋香議員さんの「熊谷市の英語指導法ラウンドシステム」についてお答えします。

尾上さんは、このラウンドシステムで英語力が伸びていると実感しているとのことですが、それはまさに一生懸命授業に参加している成果です。

尾上さんは身に付けた英語を使って、他国の方と交流を深める機会を設けてほしいとのことですが、大変すばらしいことです。

熊谷市では国際交流協会が中心となり「外国人と英語でおしゃべり」など、現在もさまざまな交流イベントを開催していますので、ご紹介します。これからも実際のコミュニケーションを通じ、ラウンドシステムを通して身に付けた英語力に、更に磨きをかけてください。

議席番号3　富士見中学校　加藤（かとう） 凱也（がいや） 議員
中高生のボランティアについて

続きまして、加藤 凱也議員さんの「中高生のボランティアについて」にお答えします。

加藤さんも言われたように、熊谷市内にも、国宝の聖天山を始めとする名所が多くあります。熊谷の子どもたちには、その名所について学び、学んだことを日本各地から、そして、世界中からの観光客に向けて発信したり、おもてなしの心をもって接したりできるような力をつけてほしいと思います。そのような力を育てることをねらって、熊谷市の小中学校では「くまがやラグビー・オリパラプロジェクト」に取り組んでいます。この中で、まずは熊谷の名所を始め、熊谷の歴史・文化、熊谷の良さをよく知ることが大切です。

熊谷を訪れる方々に、熊谷の良さをPRするためには、コミュニケーション能力や情報収集能力などを駆使しなければなりません。ボランティアは、まさに未来の熊谷につながる大切な活動だと考えています。今後、ボランティアを含め、中学生の皆さんがどのような活動に取り組めるか検討していきます。

議席番号４　富士見中学校　橋本（はしもと） 佳音（かのん） 議員
図書館利用者を増やすために

橋本 佳音議員さんの「図書館利用者を増やすためについて」にお答えします。

熊谷図書館では、図書館資料の「収集方針」に基づき、毎週100冊近くの本を購入しています。

新刊本やおすすめ本を紹介するために、入口付近に設けている「特集コーナー」は利用者の目を引く、魅力ある棚作りをしていきたいと思います。

また、橋本さんの言われるとおり、小学生までは図書館を利用していても、中学生になると部活や勉強で忙しく、図書館から足が遠のいてしまうため、10代の利用者が少ないのが図書館の課題でした。

大変すばらしい提案をいただきましたので、早速、熊谷図書館の中高生向け図書コーナーに新刊本やおすすめ本の紹介コーナーを設けたいと思います。そして、中高校生の皆さんに「おすすめ本紹介カード」を書いていただき、本とともに展示したいと考えていますので、ぜひ中学生の皆さんにも協力をお願いします。

５ ジュニア議員の感想

～ジュニア議会を終えて～

１. 議会のしくみについて、理解は深まりましたか。

- 議長に質問が許可されなければ、質問できないということを知りました。
- 議場はとても厳かで、ここで熊谷市の政策が決まっていくという重みを感じました。
- 議会で出た案を基に、様々な改善点を見つけ、よくしていくことが分かりました。
- 議会の中継を行っていることは知らなかったので、とても意外だった。
- 市政に担当部や担当課があり、それぞれのことについて質問が行われることを知りました。
- 入るときの礼や話す前の礼など決まりがあり、それを守らないといけないと思いました。
- 一人ひとり丁寧に答えていただきうれしかったです。
- 今回は１人１問だったけれど、普段は回答に対する新たな質問など、より深くまで審議することがわかりました。

２. 質問に対する答弁で印象に残っている部分はありますか。

- 私が思った疑問に一つ一つとても丁寧にお答えくださったので、解決することができました。
- 私のアイデアも参考にしたいと言っていたところが印象に残っています。
- 2019 年に行われるラグビーワールドカップについて、CM などで盛り上げることはいいことだなと思いました。
- 「ラウンドシステム」についての質問は私も共感できるところがありました。今後、熊谷市でこの質問が生かされるようなボランティアがあったら参加したいです。
- 様々な質問に真剣に向き合い、身近な例を上げて答弁していただき、理解と関心が深まりました。
- 自分の内容が取り上げられたとき、“議会”をしている実感が湧いてきて、うれしかったです。
- 最後に市長さんが宿題として持ち帰るとおっしゃっていて、私たちの提案や質問を本当に考えてくださるんだなと思いました。

- ラグビーワールドカップでのボランティアについて検討していると聞き、もし、ボランティアがあるのなら、参加してみたいと思いました。
- 民間の企業と協力して、地域に働きかけてという答弁が多く、いろいろな場面でしっかりと連携が取れているんだなと感じました。
- 熊谷市が工夫していること（暑さ対策）のほかに、これから変えていくことを考えていて、すごいと思いました。
- 地域の防災訓練に中学生があまり参加していないことが印象に残り、対策を各地域で考えなければいけないと思いました。
- 印象に残っていることは市民からの空き家に対する通知やクレームにもしっかり対応していて、空き家の主にもしっかりと連絡し、警告までしていることです。
- 部活動に対する答弁については、多くの方々が私たちの命のことを最優先に考え、取り組んでいただいていることにとてもありがたいなぁと思いました。

３. ワークショップで、熊谷市への理解は深められましたか。

- ほかの学校の人とコミュニケーションをとったり、熊谷市について調べたりすることができました。
- 今まで知らなかったサービスや、保険、生活保護などについて理解を深めることができました。
- 1 回目のワークショップで熊谷市のことについてほかの人たちと協力してまとめたのが印象に残っています。なかでも交通や名物、環境のことについて、理解を深めることができました。
- 熊谷市の良いところや課題を話し合ったり、ほかの班の発表を聞くと驚くような視点から見ていたりしておもしろかったです。
- 普段、あまり市報を読んだことがなかったけど、熊谷市が行っている様々な活動が載っていて、読んでみておもしろかったです。これからはもっと市報を読んでみたいと思いました。
- 熊谷市は施設運営や、自然環境などが充実しており、住みやすいまちづくりを行っていると思った。
- 熊谷市の暑さ対策日本一のためにどんなことをしているか知ることができました。熊谷市ホームページの暑さ対策バンクの存在やクックパッドでの活動も知ることができました。

- 熊谷の知らなかったことやラグビーワールドカップについてなどを特に深められたと思います。熊谷に住んでいても、これだけ知らないことがあるんだなと驚きました。
- おいしい食べ物や歴史ある祭りなどまだまだ熊谷には魅力があると思うので、今後理解を深めていきたいと思います。また、魅力のほかにも熊谷がかかえる問題点も知ることができたので、少しの力ですが協力していきたいと思います。
- 熊谷は「日本一暑いまち」として、日本全体に暑さ対策を広めていることを知って、少し誇らしい気分になりました。
- 熊谷の名物「雪くま」や「五家宝」などが何を材料に、どのように作られているのか、熊谷は何が名産物なのか何が盛んなのかなど、とてもたくさんのことを調べ、知ることができ、理解を深めることができました。
- 今後は「熊谷は何に力を入れているのか」や「熊谷の歴史」への理解を深めていきたいと思います。

4. 夢・未来熊谷ジュニア議会を体験して感じたことを教えてください。

- 議会について知ることができ、熊谷についてもたくさん調べて知ることができたり、市長席に座らせていただいたりと、めったにできない体験ができ、とても満足しています。
- ジュニア議会を体験してみて、熊谷のために中学生が協力できることがたくさんあると感じました。
- 今回教えてもらったことを学校の生徒に話して、熊谷の活性化の力になれば良いと感じます。
- 慣れないところでとても緊張したけど、自分の意見をしっかり言うことは大切だなと改めて感じました。
- ぜひ、この議会の内容を録画した動画を学校でみんなに見てもらい、情報を共有できればいいと思った。
- もう少し時間短縮をすることができたら、さらに質の良い議論をすることができるのではないかと思いました。
- ほかの中学校の仲間ができてうれしいです。他校との交流がもっと深まっていけば良いと思います。
- もう少し、いろいろな人と関わりたかったなと思うので、今後は自分以外の 31 人全員と一度は必ず話すようにした方が良いと思います。

6 参考資料（ジュニア議員座席表）

第13回夢・未来熊谷ジュニア議会　座席表

広報広聴課長　広報広聴課

議会事務局

産業振興部長	環境部長	福祉部長	危機管理監
市民部長	総務部長	総合政策部長	市長公室長
	副市長	市長	

	議長	議会事務局長

演壇

議会事務局副局長	選挙管理委員会事務局長	監査委員事務局長	農業委員会事務局長
消防長	水道部長	契約室長	会計管理者
教育長	教育次長	都市整備部長	建設部長

8 たぐち かいり 田口 快璃（熊谷東中）	7 しのざき めい 篠﨑 芽（熊谷東中）	6 やまぐち あや 山口 彩（大原中）	5 みながわ しんたろう 皆川 慎太郎（大原中）
20 なかむら しょうた 中村 祥太（三尻中）	19 かとう あい 加藤 愛（三尻中）	18 ためがい もとはる 為谷 元春（別府中）	17 おおたけ みずき 大武 瑞希（別府中）
32 さかい はるか 境 美翔（江南中）	31 おのえ ともか 尾上 朋香（江南中）	30 おおさき りょうが 大﨑 涼雅（妻沼西中）	29 あらい ありさ 新井 亜莉沙（妻沼西中）

16 たじま かいと 田島 颯人（吉岡中）	15 おぎしま もなこ 荻島 萌南子（吉岡中）	14 もとぎ みう 本木 美羽（中条中）	13 たけうち りくと 竹内 陸人（中条中）
28 ほし ゆうき 星 友基（妻沼東中）	27 いなみ あやね 稲見 朱音（妻沼東中）	26 とおい わかな 遠井 若奈（大里中）	25 かとう りょう 加藤 凌（大里中）

4 はしもと かのん 橋本 佳音（富士見中）	3 かとう がいや 加藤 凱也（富士見中）	2 さとう ゆき 佐藤 ゆき（荒川中）	1 おかだ れい 岡田 伶（荒川中）
12 みしな こうしろう 三品 功士朗（大麻生中）	11 いしはら ちなり 石原 千愛（大麻生中）	10 よねみつ しょうたろう 米光 将太郎（玉井中）	9 しみず ゆめか 清水 夢叶（玉井中）
24 かない たろう 金井 汰朗（大幡中）	23 かとう あやの 加藤 綾乃（大幡中）	22 たかはし あゆむ 髙橋 歩夢（奈良中）	21 あきよし あいか 秋好 愛花（奈良中）

7　参考資料（答弁のための出席者）

市長	富岡　清
副市長	長谷川　泉
市長公室長	山崎　実
危機管理監	松岡　八起
総合政策部長	清水　敏文
総務部長	矢吹　浩一
市民部長	戸森　重雄
福祉部長	野中　詔子
環境部長	中島　慎介
産業振興部長	持田　浩一
都市整備部長	前田　昌利
建設部長	澤田　英夫
消防長	宮本　貢朗
水道部長	羽鳥　豊
契約室長	鯨井　敏朗
会計管理者	橋本　政佳
教育長	野原　晃
教育次長	小林　教子
選挙管理委員会事務局長	渡邉　功
監査委員事務局長	小澤　幸夫
農業委員会事務局長	増田　啓良
議会事務局長	長島　留美子

市の花さくら、市の木けやき、市の鳥ひばり、市の魚ムサシトミヨ

第 13 回　夢･未来熊谷ジュニア議会　会議録

発行　熊谷市市長公室広報広聴課

〒360-8601　熊谷市宮町 2-47-1

TEL：048-524-1111(代表)